

現在行われている主要な対策(案)

	地域的な影響						グローバルかつ地域的な影響	グローバルな影響
	直接的人為影響			間接的人為影響			オニヒトデ等による食害	海域影響
	過剰・不適切な漁業	過剰・不適切な観光	沿岸域の開発・整備	赤土等の土砂の流入	富栄養排水の流入	化学物質の流入	オニヒトデ・サンゴ食巻貝等による食害	海水温の上昇に伴う白化、二酸化炭素の増加に伴う成長阻害
主要な対策	漁業者による自主規制(操業区域、漁期、漁法などに関する自主協定)	利用調整または入域制限	国立・国定公園海中公園地区等の指定	農地からの土壌流出の防止	事業所からの排水規制	事業所からの排水規制	駆除を実施すべき重要海域の選定	地球温暖化の防止対策
	密漁等の不正利用の監視	ガイドライン、自主ルール、協定などの締結	エコポート施策の推進	林地からの土壌流出の防止	下水道整備	環境保全型農業の推進(農薬使用量の低減)	オニヒトデ・サンゴ食巻貝等の駆除	
	保護水面の指定	モーリング・ブイの設置	環境アセスメントの実施	工事現場などからの土壌流出の防止	浄化槽整備			
		ダイバーへの事前説明とダイビング中の指導		赤土等流出対策支援システムの確立	農業集落排水施設整備			
		ガイドの導入(例: 八重干瀬のような徒歩利用の場合)			漁業集落排水施設整備			
					コミュニティプラント整備			
					家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進			
					農業排水中の窒素及びリンの負荷量の軽減			
その他の対策(再生の取組等)	サンゴの移植・増殖							
対策のための基盤	現状把握(モニタリング)、環境教育の実施							